

一般名処方に関するヒヤリ・ハット

～一般名の名称類似が取違えの要因として考えられる組み合わせ～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「一般名処方」に関する事例が275件報告されています。(集計期間：平成25年1月1日～平成25年12月31日)

このうち、異なる一般名の医薬品と取違えた事例33件の中で、一般名の名称類似が、薬剤取違えの要因となったことが記載されている事例の一般名の組み合わせを「主な薬効」とともに下表に示します。

注：「主な薬効」とは、その医薬品が対応する個別医薬品コード先頭3桁の医薬品分類を示す。

一般名 「主な薬効」	一般名 「主な薬効」
【般】 L-アスパラギン酸 カリウム錠 300mg	【般】 L-アスパラギン酸 Ca錠 200mg
無機質製剤	カルシウム剤
【般】 セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg	【般】 セフジトレンピボキシル錠 100mg
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	
【般】 セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg	【般】 セフジニルカプセル 100mg
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	
【般】 セフジトレンピボキシル細粒 10 %	【般】 セフジニル細粒 10%
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	
【般】 ロフラゼパ酸エチル錠 1mg	【般】 ロラゼパム錠 1mg
催眠鎮静剤、抗不安剤	

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成25年年報」P159図表2-14を改変